

平成20年 9月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成20年9月26日（金）午後1時30分～午後3時1分

2 場 所 市役所 602会議室

3 出席者 [委員] 鈴木邦治委員長、古敷谷千賀子委員長職務代理者、富田常世委員、清水三和子委員、鈴木秀昭教育長
[事務局] 大沢賢教育総務部長、赤岩克夫学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、内野正行学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、又吉春雄生涯学習担当参事兼生涯学習センター所長、安田政昭保健給食担当参事兼保健給食課長、村上光利教育総務課長、則武辰夫社会教育課長、中村藤司生涯スポーツ課長、金子美也子文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、永井博彦教育センター所長、師岡林教育総務課主幹兼教育企画室長、平川聖一教育総務課主幹、嶋津文行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長
[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴人 なし

6 開 会

本日の議案は、議案第21号から議案第24号までの4件。

議案審議に先立ち、鈴木邦治委員長から「議案第24号 平成20年度所沢市教育功労者の表彰について」は、個人に関する情報のため、非公開とすることとしたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議 題

議案第21号 教育財産の用途廃止について

資料に則り、田中教育施設担当参事から説明がなされた。

以下、質疑。

（古敷谷委員長職務代理者）

使う用途がなければ、市長部局への返還もやむを得ないと思う。

（清水委員）

以前から話しは聞いていた。

（富田委員）

東中学校の生徒数が増えたことが話の発端だったと思う。

(鈴木委員長)

市長部局へ返還した後は、使いみちが決まっているのか。

(大沢教育総務部長)

オレンジ色で示した国有地部分を市が先行取得し、今回返還する土地と合わせて緑の活用が想定されます。

(鈴木委員長)

そのような構想があるのなら良いと思う。

※鈴木委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第22号 所沢市学校医等の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について

資料に則り、安田保健給食担当参事から説明がなされた。

質疑は特になし。

※鈴木委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第23号 平成21年度当初所沢市立小・中学校教職員人事異動の方針について

資料に則り、内野学校教育部次長から説明がなされた。

(古敷谷委員長職務代理者)

免許外教科担任を削減するということか。

(内野学校教育部次長)

人事異動により解消できれば望ましいということです。

(鈴木委員長)

優秀な先生は所沢市教育界の宝である。他市へ転出しないようにできないものか。実力に応じた待遇など、良い先生を確保する努力が必要ではないか。

(内野学校教育部次長)

一方でそのような先生は、全県的・全市的な広い視野から後進の指導に携わる形で転出することも重要であると思います。他市町村への転出は、本人の意向もありますが、今いただいたご意見を参考に異動事務を進めていきたいと思っています。

(冨田委員)

今年度の小中学校間の異動の件数はどのくらいか。また、長期的展望に立った異動計画の立案とは、どういう視点で行なうのか。

(内野学校教育部次長)

県の事業（Jプラン）として狭山ヶ丘中学校の英語教諭が若狭小学校へ英語教育に出向いている事例がありますが、今後、それ以外にも交流を進めていこうとするものです。また、長期的展望につきましては、異動の年数

が集中しないようにすることや、ベテランの教員と新任の教員のバランスが崩れないようにすることなどを見通して人事異動を行なっていくということになると思います。

(富田委員)

今後5～6年の大量退職の数はどのくらいか。

(内野学校教育部長)

昨年度末の退職者が小学校で43名(うち再任用6名)、中学校で退職者24名(うち再任用2名)で、このような状況が今後数年間続くと思われる。

(古敷谷委員長職務代理者)

小中学校の児童生徒数は、今後5～6年で大きく変わらないのか。

(内野学校教育部長)

ほぼ横這いで推移すると予想されています。学年別でみても特徴的な増減は見込まれていません。

(古敷谷委員長職務代理者)

ベビーブームの次世代の子供の数は、特徴的に多いということはないか。

(内野学校教育部長)

推計では特に多くはありません。

(清水委員)

良い先生が他市に出て行ってしまっても、数年後に所沢市に戻ってもらえれば良いと思う。

(内野学校教育部長)

異動に関しては人事異動方針に沿って行なっていますが、良い先生には是非、所沢市に戻ってきてもらうよう努力したいと思います。

(富田委員)

ここ5～6年でベテランの先生が退職されると思うが、その方々がもつ知恵やノウハウを次世代へ伝達していくことが必要だと思う。

(内野学校教育部長)

再任用で後進の指導に当たる方もいますが、それ以外の人材活用についても校長に働きかけていきたいと思います。

※鈴木委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第24号 平成20年度所沢市教育功労者の表彰について

資料に則り、村上教育総務課長から説明がなされた。

(鈴木委員長)

芸術・文化で優秀な成績を収めた方々は、合唱のみならず他にもあるのではないか。

(古敷谷委員長職務代理者)

合唱コンクールが一番目立つのだと思う。

(大沢教育総務部長)

芸術・文化につきましては、文化スポーツ振興基金から保護者負担を軽減するために補助金を出しており、関東大会など多額の費用を要するものは把握が容易ですが、それ以外のものについても学校に確認してまいりたいと思います。

(冨田委員)

毎年3月に学校に対して調査があるが、その際には対象としてもらっているかと思う。

(内野学校教育部次長)

書道や絵画など個人的なものについては、学校から報告がないと把握できないが、基準に照らして取り扱っていきたいと思います。

(鈴木委員長)

優秀な成績を収めた方々は、発表の機会を作ってあげて欲しい。

(古敷谷委員長職務代理者)

英語スピーチコンテストや作文コンクールなど、子どもを励ますことは必要だと思う。

(鈴木委員長)

滝の城遺跡保存会は、対象にならないものか。

(金子文化財保護課長)

以前に受賞されているので、今回は感謝状で対応したいと思います。

※鈴木委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項

○市民体育館の命名権導入について（生涯スポーツ課）

資料に則り、中村生涯スポーツ課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(鈴木教育長)

命名権の導入については、市議会でも質問が出ていたが、慎重に選ばなければならない。市民体育館は稼働率が高いので、かなり候補が上がってくると思う。

(鈴木委員長)

命名権のみならず、「広告」もやったら良いのではないか。命名権については先例が多数あるので、導入は問題ないと思う。

(冨田委員)

命名権の導入によって、例えば市民文化センターの「ミューズ」という名称はなくなってしまうのか。

(大沢教育総務部長)

「ミューズ」は愛称なので、施設名とは異なります。

(村上教育総務課長)

命名権を導入した場合には、施設には2つの名前ができるということにな

ります。命名権による施設の呼称と正式名称が存在することになります。
(清水委員)

市民体育館は埼玉ブロンコスの本拠地にもなっているので、盛り立てる方向で命名権を考えていってもいいのではないかと。

(大沢教育総務部長)

命名権の導入は初めてのことなので、一般的に収入が期待できる資力のあるところをお願いしたいと考えております。

それでは、ご協議いただいた内容を踏まえて事務を進めてまいりたいと思います。

9 報告事項

- 「親子ふれあいコンサート（親子音楽鑑賞教室）」について（社会教育課）
- 第11回「三ヶ島葭子資料室」講演会について（社会教育課）
- 第9回所沢市陸上競技選手権大会の開催について（生涯スポーツ課）
- 子どもの体力向上地域連携強化事業（県補助事業）「フラッグフットボール教室」の開催について（生涯スポーツ課）
- 8月24日開催の「埋蔵文化財調査センター夏の臨時開館・夏休みこども宿題相談」の結果について（文化財保護課）
- 9月13日開催の「埋蔵文化財調査センター秋の臨時開館及び文化財講演会」の結果について（文化財保護課）
- 新生涯学習施設（旧並木東小学校活用計画）の整備状況等について（生涯学習センター）
- 区域外就学について（学校教育課）
- 全国学力・学習状況調査について（学校教育課）

10 その他

- ・教育委員会10月定例会：10月30日（木）午前10時～ 教育センター
- ・平成20年度教育懇談会：10月30日（木）午後1時30分～ 教育センター
- ・教育委員会11月定例会：11月27日（木）午前10時～ 教育センター
- ・平成20年度教育功労者表彰式：11月27日（木）午後1時30分～
教育センター

※ 鈴木邦治委員長から退任に際しての挨拶

11 閉会 午後3時1分